



Yonago East Weekly

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
 ●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
 ●会長/尾沢三夫 ●幹事/永見吉平 ●会報/伊藤慎哉

出席報告

会員数80名

今週のお祝い

夫人誕生祝:

4日 足立博俊君 6日 野坂裕一君
 7日 大濱宏一君 18日 牛込淳彦君
 19日 木下博夫君 25日 永島正道君

結婚記念祝:

2日 石井敬薫君 6日 野坂裕一君

会長挨拶

皆様こんにちは。先週2月15日には、第2グループの5RC合同例会が行われ各RCより盛大な例会であったとお褒めを頂きました。

また龍をかく女、濱田珠鳳先生の実演で書き上げられた作品2点、素晴らしい花の絵と龍の筆を米子南RCと米子RCが抽選にて当たりました。ご参加頂いた各ロータリーの会員の皆さんには永く記憶に残る例会になったのではないかと考えております。お世話いただいた皆様方には心から感謝を申し上げたいと思っております。

なお、来週は閏年の29日第5水曜日で休会となっております。次の例会は3月7日ですが、ちょうど米子市議会の本会議の真最中で残念ながら欠席をさせて頂き、小谷副会長にお任せを致します。

幹事報告

- 4/22 IM 境港RCホスト (境港市民会館)
- 4/28,29第17回国際ロータリー日本青少年交換研究会札幌会議のご案内 (札幌パークホテル)
- 3/30~4/1青少年交換委員会 地区外研修旅行 (大塚美月さん 九州方面)
- 3月ロータリーレート1ドル78円
- 「私を変えた一冊」原稿依頼 (ロータリーの友事務所より)
- 例会変更のお知らせ
 鳥取西RC 3/2(金)休会(定款第6条) ビジター受付なし
 境港RC 3/6(火)50周年記念式典 ビジター受付あり
 倉吉東RC 3/8(木)夜間例会 (// 事務局)

次回プログラム

- 3/14 「街づくり」(仮題)について
 NPO法人 夢蔵プロジェクト
 理事長 加藤文治 氏
- 3/21 「学校関連のお話」(未定)
 鳥取県立米子高等技術専門校
 校長 越智浩明 氏
- 3/28 「花粉症について」
 荒川圭三 会員

今後の予定

- 3/7 経済活性化研究会 & 新入会員歓迎会
 (芭蕉庵 角盤町店)
- 3/14 第5回家庭集会 (白鳳の里)
- 3/25 春季ゴルフ大会 & 森本会員送別会
 (米子ゴルフ場、芭蕉庵 角盤町店)
- 4/8 地区協議会・事務局員研修会
 (倉敷アイビースクエア)
- 4/22 IM(境港市民会館)



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach within to embrace humanity

こころの中を見つめよう 博愛をひろめるために

《プログラム》

「ロータリー野球について」

米子東RC野球同好会キャプテン 豊島文章



本来は井上賢明監督がお話を頂く予定でしたが出張にて、代打でキャプテンを務めている私がお話する事になりました。

私は平成20年の1月入会ですので、ロータリー野球の歴史や伝統については知識がございませんので省力させていただきます。私が入会以後の活動と私の感想をお話いたします。

私の入会のきっかけはまさに野球でありまして、既に米子東クラブが予選を勝ち上がって平成20年の甲子園大会出場が決まっておりました。私の入会当初の認識は、年配のロータリアンがされるお遊びの野球で競技野球とは別物と私は考えていました。しかし、甲子園大会に出させて頂き、他のチームには元プロ野球選手や実業団で活躍された方等対戦相手の良い所や欠点が見えてきました。

そして、甲子園の一回戦でジャンケンでの負けで闘争心に火が付き、認識を改めて現在に至っています。元プロ野球選手や実業団で活躍した方との対戦や甲子園球場のマウンドで投球が出来た事、名古屋ドームでのピッチングは、金では買えないかけがえの無い貴重な経験をさせていただきました。また、RC野球で対戦したお相手との友情の交流の輪が出来てきました。これがRC野球で私が最も意義を感じます。

最後に来年度の11月に我がクラブが全国大会の主幹を致します。そして、目標というか夢ですが山陰から全国優勝をしたい。仲間とこの夢を追いかけて行きたいです。もう一つ、増強委員長としてチャレンジ100に向け、共に野球が出来る仲間をそれぞれお一人ご紹介お願い致します。

「地区夢計画合同セミナー報告」

次期R財団委員長 石部裕一



今期R財団の目標が達成出来たと思っておりましたが、ポリオの10ドルがまだの様ですので後ほど幹事さんからお願いがあると思います。

RCクラブとR財団は1928年に分離独立し、ポールハリス記念基金が出来ました。現在百万人の千ドル以上の寄付を行ったポールハリスフェローが生まれています。

ロータリー財団未来の夢計画試験段階(パイロット)は、財団の未来の夢計画において提供される新しい補助金構成を3年間かけて試験的に行うもので、100地区を対象に実施されています。試験地区には、新しい補助金構成の改善に向けて意見を述べる機会が与えられるほか、財団から支援が提供されます。ロータリー財団管理委員会は、新補助金構成における6つの重点分野を特定しました。これらの重点分野は、ロータリアンが世界中で取り組んでいる緊要な人道的ニーズや課題を反映したもので、ロータリーが取り組むほかの国際的な開発活動とも調和するほか、財団の使命を助長するものです。

6つの重点分野のそれぞれには、目的が掲げられ、また具体的な目標が挙げられています。財団は、目標を基に以下を定めます。

- ・ グローバル補助金のパッケージ・グラント・プロジェクトおよび活動
- ・ パッケージ・グラントのための協力組織
- ・ クラブと地区が立案したグローバル補助金の評価基準
- ・ 全グローバル補助金の成果を評価するシステム